

ところで、僕が少し前に こんなツイートをしたのを覚えている人はいるでしょうか？

▼過去のツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1506094076613083141?s=20&t=WMHB-pXB0_Th-Yzjse24vw

このツイートが、実は今日の話のメインである

「個別のトレードは勝っている筈なのに、なぜか勝ちきれない」という人が陥っている思考の“罠”を解決するヒントになります。

どういうことかというと、勝てて「ホッとすること」だったり

次回勝てるかどうかを「不安に感じている」時点で、そのトレーダーには“欠けている要素”があります。

それは、『型に対する信頼』と『相場の不確実性』です。

本当に自分の持っている『型』を信頼してトレードする人は、勝ち負けの結果にこだわらず

自分が『型』に沿ってトレードをしていれば、あらゆる結果をフラットに受け止める事が出来ます。

要は、勝っても負けても『納得できる』状態です。

結局、「勝ってホッとすること」だったり「先の勝ち負けに不安を感じている」時点で

目先の利益を追うあまり、自分が『型』に沿って“確率論的思考”でトレードしている事を忘れてしまっている。

だから、ホッとすることや、不安などが押し寄せると、それに対処する術がなく

次回以降のトレードにおける動作がどんどん不安定になっていくわけです。

では、どうすればこの「吹き出してくる感情」をコントロールできるようになるか？

それは、いつも自分が行っているトレードの『規則性』をイメージ・言語で正確に把握できるレベルまで

『自分の型』の輪郭をしっかり捉える事です。

僕の場合なら、エントリーのセットアップに『MAの収縮+3波理論』を用いて、上の時間足にお伺いを立てながら目線に沿ってエントリーする。

トレードの可否はリスクリワード比(1:2~3)を厳守して、迷ったらやらない。

そして、勝っても負けてもマーケットタイム内で『1回勝負』を厳守する。

敢えて大雑把に僕の『型』を言語化してみましたが、詳細を説明するならもっと色々な事を無意識に情報処理しながら『同じ行動』を再現しています。

残念ながら、この考え方を定着させるには、一つ決めたセットアップに対する膨大な検証が必要です

地道なフォワードテスト(デモトレードによる技術習得)が欠かせませんから、膨大な手間と時間がかかります。

しかし、そこまでやって初めて『一貫性』のあるトレード=何をやっているか人に正確に説明できるトレード を実践できるレベルに到達します。

逆にそこまで至れば、1つ1つのエントリーの結果に一喜一憂していることなどなくなっているはずですし

気が付いたらトレードを重ねるごとに、トータルの利益がプラスになっている状態のはずです。

今後も僕は、口当たりのいいことは全然言わないと思いますが(笑)「嘘」の無い

勝てる(稼げる)トレーダーになる為に必要な『考え方』を僕なりの言葉で伝えていきます。